

No. 84

農業に関すること

**意見・質問・要望等**

農業問題で質問している議員はいないようだ。米価は1万円を切っているが、どうするつもりだ。きちんと議会でも結論を出してほしい。【北郷自治センター】

**当日の回答**

皆さんの声を聞き、議会で何ができるか、これからも議論していきたいと思います。

**当局回答**

米価等が下落した際に収入を補てんする『米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)』や水田活用の直接支払交付金等の国の政策と連携しながら、対応していきたいと考えています。  
また、国に対しても農業問題の解決に向けた要望を行ってきたいと考えています。【農政課】

No. 85

農業に関すること

**意見・質問・要望等**

減反政策で、作物を作らない水田に対し、課税するとの情報がある。また、集積できる場所は平坦地であり、山間地の集積は非常に難しい。さらに、毎年、減反が増えているのが現状である。何を考えているのか国に対して意見してほしい。【西根自治センター】

**当日の回答**

角田市として大きな問題であり、議会として国に強く要望していきます。農業ビジョンの中で取り組み、要望事項として承ります。

**当局回答**

税制改正に伴い、中間管理機構を通じた貸し借りには農地の固定資産税の減額、遊休農地には課税が強化されることになりました。  
遊休農地は中山間地など、条件不利地に多数あります。こうした貸したくても借り手が見つからない農地の所有者が、不利益を被らない仕組みづくりを国が検討をしています。課税強化の対象地については、中間管理機構が借り受ける農地にもかかわらず、貸し付けしなかった場合などに限定されます。  
今後、農地利用状況調査、農地意向状況調査を通し、適正な運営をしていきます。【農業委員会】

No. 86

農業に関すること

**意見・質問・要望等**

各地区において、年2回の江払いを行っているが、その段階で草刈りを行う場所に水路に面した急勾配な土手がある。これまでは何とか草刈りをやってきたものの、高齢化に伴い大変に危険を感じながら取り組んできたが、今後については難しい現状となってきている。これらについては、どこまでの範囲で草刈りをしなければならないのか。また、その場合の市の支援体制はどうなっているのか教えてほしい。【横倉自治センター】

**当日の回答**

常々、水田・水路等の環境美化にご協力をいただき感謝申し上げます。ただ今の意見にもありました通り、現段階では、高齢化に伴う危険箇所については、無理をせずに怪我の無いような取り組みに切り替えていただければと考えます。なお、それらの現状を踏まえた草刈りの範囲や危険箇所の刈り残し部分の問題及び市の支援体制については持ち帰り精査していきます。

**当局回答**

議員回答の通りであり、同様のご相談を受けております。その都度現地を確認し関係課と協議をしながら、その支援体制等について検討しています。【農政課】

No. 87

農業に関すること

**意見・質問・要望等** 中山間地の水田基盤整備は将来どうなるのか。【豊室公民館】

**当日の回答** 手持ちの資料にはないので、持ち帰り、後日、報告します。

**当局回答** 中山間地域直接支払交付金事業の対象地域では、その交付金を活用して簡易な整備を行うことができますので、地域での話し合いの中で事業を行うことは可能と考えています。  
規模の大きな事業については、地域の要望や国、県の支援内容、地域負担等を考慮して対応していきます。【農政課】

No. 88

有害鳥獣(イノシシ)に関すること

**意見・質問・要望等** イノシシ対策について、捕獲時の補助金が1頭当たり1万円では、割に合わない。1頭当り2万円ぐらいにアップしてほしい。【藤尾自治センター】

**当日の回答** 要望として、当局に伝えます。

**当局回答** 現在、角田市では、駆除隊員を対象に、イノシシ1頭の捕獲に対して1万円、1日の活動謝礼として500円を支出しております。  
仙南の市町では、1頭あたり8,000円～10,000円の謝礼金となっており、角田市の謝礼金は他市町と同等以上のものとなっています。  
駆除隊員の方々には、日頃のご協力に感謝するとともに、今後ともご支援を賜りたいと考えています。【農政課】

No. 89

有害鳥獣(イノシシ)に関すること

**意見・質問・要望等** 有害鳥獣イノシシ解体場は、蔵王町に続き白石市でも作ったが、角田市、丸森町で作れないのか。解体し、焼却するのは大変である。【西根自治センター】

**当日の回答** 検討事項として承ります。  
この内容につきましては、先の一般質問でも議論をさせていただきましたが、市長答弁として人件費、設備費を考えると費用対効果の面で非常に厳しいです。  
また、実際に猟友会の方に伺うと、解体場にお金をかけるより、現実的なことにお金を使った方が良いとの話もあり、難しいとのことです。

**当局回答** 蔵王町、白石市は、国の事業を活用し解体場を整備していますが、解体後は、角田衛生センターに搬入し焼却することになります。  
また、施設の維持、管理・運営には、毎年、人件費を含め多額の費用が必要となるといった課題もあります。  
角田市の駆除隊員の話では、1頭丸ごと焼却する施設は別として、多額の費用をかけて解体処分場を建設するのであれば、その費用を別なものに使ってほしいとの意見もあります。  
このような状況であるため、新たに建設するのであれば、仙南地域など広域的な範囲で施設を整備することが望ましいと考えており、県に対しても要請していきたいと考えています。【農政課】

No.90

有害鳥獣(イノシシ)に関すること

**意見・質問・要望等**

イノシシは、10kgのブロックにして角田衛生センターで処分するか、土中に埋めて処分している。イノシシの処分が大変だと捕獲意欲にも影響してくる。(仮称)仙南クリーンセンターではどんなやり方が考えられるのか。【東根自治センター】

**当日の回答**

仙南地域広域行政事務組合の中でも温度差があり、今のところどうなるのかは決まっています。  
放射能による損害については、特別委員会を立ち上げましたので、その場で話し合っていきます。

**当局回答**

イノシシの処分方法は、以前から埋却か角田衛生センターでの焼却処分となっております。  
現在建設されている(仮称)仙南クリーンセンターにおけるイノシシの処分の方法については、現在のところ角田衛生センターでの処理方法と同様の取り扱いになると伺っています。【農政課】

No.91

農道に関すること

**意見・質問・要望等**

農道に砂利を敷くことについて、大きな砂利(大きいので10cmくらい)を敷くので、それが田に入って困る。細かい砂利を敷くことができないのか検討してほしい。予算の関係で、これでしかできないというが、何とかしてほしい。【桜自治センター】

**当日の回答**

要望として、担当課にお伝えします。

**当局回答**

業者委託で砂利敷きを行っていますので、田に落ちないように指導いたします。なお、細かい砂利を敷くことができないかとのことですが、砂利山から運搬する際には、なるべく細かい砂利を持ってきている状況です。不均一な部分がありますが、現状での対応しかできませんので、ご理解願います。【土木課】

No.92

水路に関すること

**意見・質問・要望等**

第9回議会報告会で出た課題のNo76野田前用悪水路改良工事については、どうなっているのか。【野田生活センター】

**当日の回答**

水路については土地改良区と相談しながらやるという回答です。現在の状況を当局に確認し、連絡します。

**当局回答**

災害等の発生で対応が遅れていますが、随時緊急性の高いところから部分的に改修を行いたいと考えています。下水道の雨水計画の事業も予定されていますので、維持的な対応になりますがご理解をお願いします。【農政課】

No.93

水路に関すること

**意見・質問・要望等**

水路の関係で住宅の基礎がずれていく。屋敷周りだけでも土留めの対応をしてもらえないものか。【野田生活センター】

**当日の回答**

要望として承ります。

**当局回答**

現地の確認をいたしました。ご指摘のとおり水路の法面が洗掘されており、回りに影響がでていきますので、個人の財産の部分には手をつけられませんが、早急に水路法面の補修を行いたいと考えています。

No. 94

観光・イベントに関すること

**意見・質問・要望等**

交流人口100万人について、以前、花火大会があったと思うが、復活できないか。財政的な理由でやめたと思うが、例えば、企業に加えて市民から賛助金を募るなどの方法もある。【中島下区民会館】

**当日の回答**

要望として受け止め、担当課に伝えます。

**当局回答**

角田市民花火大会については、平成14年度まで毎年盛大に開催され、平成15～17年度は中止、平成18年度に再開され3年間続いたものの平成21年度からは再び中止されたままとなっています。  
開催には多大な費用と運営のためのスタッフの確保が必要となりますが、費用については市の負担金と企業等からの協賛金で賄われていました。  
復活のためには、費用と人材をどのように確保するか検討しなければなりません。【商工観光課】

No. 95

観光・イベントに関すること

**意見・質問・要望等**

道の駅を建設しても、イベントだけでの人集めでは大変だと思う。角田市に長く滞在できるような観光拠点の整備や外部への発信などにしっかりと取り組む必要があると思う。斗蔵山を活かしてほしいし、他に例があるように、廃校(小田小学校)を宿泊施設に利用するのも一策かと思う。議会でも人が長く滞在できる、方策についても是非検討願いたい。【小田自治センター】

**当日の回答**

市民と一緒に頑張って取り組んでいきます。

**当局回答**

小田地区には、斗蔵山や斗蔵寺、さらにそれにまつわるウォーキングコースなど、地域資源に恵まれている地域です。これらの地域資源と旧小田小学校を上手く絡めた地域活性化策が見い出せるものか、市としても研究していきます【政策企画課】

イベントの目的は、イベントの魅力で人を呼び、その後、リピーターとなって何度も足を運んでもらい、やがては角田のファンとなって日常的に訪問していただくことにあります。

そのためには、イベントそのものの魅力も必要ですが、それ以外に「まち」として「商店街」としての魅力づくりが必要不可欠となります。

このような魅力づくりは、観光関係者ばかりでなく、一般市民も含めた地域全体としての「観光まちづくり」に取り組んでいく必要があります。【商工観光課】

道の駅については、角田市のゲートウェイ(玄関)機能を発揮して、イベントだけでなく、中央公園、市内の観光地や歴史などの情報提供を行って、市内の周遊を促していきたいと考えています。【道の駅整備室】



No. 96

観光・イベントに関すること

## 意見・質問・要望等

角田駅周辺に、駅から観光地を周る100円周遊バスや100円均一店、小さくてもいいので子どもがふれあえる場所など、賑わいの場所を作ってはどうか。【藤尾自治センター】

## 当日の回答

要望として、当局に伝えます。

## 当局回答

あまりお金をかけないで、気軽に街づくりを進められることは有意義なことです。そうしたことで、子どもたちがふれあえる場所については、既存の施設(例:小学校校庭、児童センター園庭、農村公園など)を上手く活用していくことが有効と考えます。【政策企画課】

電車で角田駅に降りた人をどのように街なかに案内・誘導したらよいかということは、以前からの課題であります。なかなか妙案がなく改善されていないのが現状です。

平成27年度、特に街なか案内を中心にルートサイン計画を策定し、その一環で歩行者向けの「まち歩きコース」の提案がされていますので、差し当たり平成28年度以降で誘導案内板等を設置する予定です。【商工観光課】

No. 97

観光・イベントに関すること

## 意見・質問・要望等

商店街の空き店舗を若い経営者へ貸し出すことはどうか。また仙台で行っているように、道路片側を一方通行にし、空いた片側をパーキングにするなど、車社会に対応したアクセスしやすい商店街づくりを目指してほしい。商店街の各店主はその道のスペシャリストであり、お客様にとってもメリットは大きい。【街なか交流サロン「ひだまり」】

## 当日の回答

大変貴重なご意見であり、参考とさせていただきます。今後の商店街のあり方の一案として検討させていただきます。

## 当局回答

市においても「中心市街地活性化基本計画」を策定するなど、商店街の活性化については取り組んでいるところですが、おぼつかないのが現状です。

また、商店街の空き店舗活用などは、最近「リノベーションまちづくり」などが話題になっています。

それについても当該不動産の所有者の意向が最優先となりますので、商工会などとも連携しながら関係者との話合いの場が必要と考えています。【商工観光課】

No. 98

観光・イベントに関すること

## 意見・質問・要望等

うめ～梅まつり、ずんだまつりは年々盛大になっているが、来場者数に対して場所の設定が適当でなく、交通トラブルが多く、もてなしの心が足りないと感じる。角田市の特産物を活かせる広いイベントスペースを備えた道の駅は有効ではないか。【東田町公民館】

## 当日の回答

各種イベントの交通トラブル緩和については、場所の設定、実施方法の検討を当局へ要望します。

## 当局回答

各種イベントにおける駐車場への案内は、交通指導隊や市職員が誘導整理に当たっていますが、特に角田ずんだまつりでは、毎回その混雑への対応が反省事項としてあげられています。

場所の設定や企画運営については、それぞれの実行委員会等での決定事項であります。市としても一緒に考えていきたいと思っています。【商工観光課】

No. 99

観光・イベントに関すること

**意見・質問・要望等**

牟宇姫ひなまつりのイベントをやっているが、平成27年度からひなまつりの主催を協力者の方で立ち上げてほしいと言われ、市の方では協力しないと聞いたが、市の方でも協力して、まつりを盛り上げてほしい。【中島区公民館】

**当日の回答**

牟宇姫ひなまつりは、数年前から吊るし飾りなどボランティアの方々の協力を得て、街なかを華やかに飾りながら、手作りのお祭りを展開しています。

また、最近では、丸森町、村田町、大河原町など近隣の町とも広域連携して、ひなまつりのイベントを盛り上げようとしています。

市の方針として、ボランティアの皆さんがより関わりやすいように、ボランティアの皆さんができる所はお任せし、市でやるべきところは市で進めるとのことだと思います。

決して市が協力しないということではないと思いますので、今後ともご協力の程、よろしくお願ひします。

**当局回答**

かくだ牟宇姫ひなまつりは、震災後に郷土資料館の雛人形展の代替として始まりましたが、資料館が復旧後も毎年開催され、今回で5回目を迎えました。

今回から市、商工会、観光物産協会、商店会など関係者で組織する実行委員会を設置し、事務局を商工観光課においています。

これは市民主体のお祭りにしていこうという趣旨であり、市が協力しないということではありません。今後とも実行委員会と共にお祭りを盛り上げていきますので、市民の皆様も積極的に関わっていただきたいと思ひます。【商工観光課】

No. 100

観光・イベントに関すること

**意見・質問・要望等**

名所旧跡の有効活用について、八竜城や大久保古墳など、案内看板も無いし、年数回の草刈程度で荒れ放題である。観光などに有効活用してほしい。【藤尾自治センター】

**当日の回答**

案内看板等は、商工観光課で市全体の案内板を設置を検討中です。なお、教育委員会等も含めて有効活用するよう要望します。

**当局回答**

市全体の観光コースの中での検討や、健康ウォーキング事業などに関連付けた整備・活用を検討していきたいと思ひています。そのためにも、関連部署との協議を実施していきます。【生涯学習課】

角田市は、全国的に有名な観光地ではありませんが、高蔵寺や斗蔵山、四方山をはじめ隠れた名所がたくさんあり、八竜城や大久保古墳もそのひとつだと認識はしています。

現在、角田市の観光はどうあるべきなのか、市内全域を俯瞰するとともに、近隣市町村との広域的な観光振興策も視野に入れながら、今後の整備や管理の方針を検討していきます。【商工観光課】

No. 101

観光案内板に関すること

**意見・質問・要望等**

角田市に転居してきた人に、角田市を紹介しようと思ひ、郷土資料館を探したが、案内板がなくて場所が分からなかった。郷土資料館のみならず、市内に案内板が不足しているのではないか。【中島区公民館】

**当日の回答**

案内板の不足については前から指摘を受けています。そこで現在、商工観光課で、市全体の案内板計画を立てており、順次設置していく予定です。

**当局回答**

平成27年度において、街なか案内を中心にサイン計画を策定いたしました。

平成28年度以降、この計画に基づき優先順位をつけて案内板等を設置していく予定にしています。【商工観光課】

No.102

観光案内板に関すること

**意見・質問・要望等** 丸森町には、高速道路の看板はあるが、角田市には無いのはなぜか。【中島区公民館】

**当日の回答** 当局に伝えます。

**当局回答** 高速道路までの案内標識設置箇所は、幹線道路となっている国道や県道に看板を設置することが有効と考えられます。市内にも数箇所山元インターチェンジへの案内標識が設置してありますが、設置箇所数の増については、管理者である大河原土木事務所に要望していきます。【土木課】

No.103

観光案内板に関すること

**意見・質問・要望等** 内町湖周辺の遊歩道を整備してほしい。併せて内町湖北側の道路が狭いので、拡幅してほしい。【藤尾自治センター】

**当日の回答** 要望として、当局に伝えます。

**当局回答** 荒町山根線については、以前に道路改良が計画されましたが、用地の了解が得られず拡幅改良にいたらなかった経緯があります。なお、現時点の道路の拡幅は難しい状況です。【土木課分】

角田市は、全国的に有名な観光地ではありませんが、高蔵寺や斗蔵山、四方山をはじめ隠れた名所がたくさんあり、内町湖周辺もそのひとつだとは認識しております。

現在、角田市の観光はどうあるべきなのか、市内全域を俯瞰するとともに、近隣市町村との広域的な観光振興策も視野に入れながら、今後の整備や管理の方針を検討していきます。【商工観光課分】

No.104

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等** 補助金目当てではなく、将来を考えた道の駅にしていかなければならないのではないかと。作れば売れるのではなく、売れる物を作る体制が重要と考えるのがいかか。【西根自治センター】

**当日の回答** その通りであります。議会としては、反対、賛成を言っているのではなく、施設の管理運営、地域産業活性化策、財源の不安を払拭し議会も納得でき、市民の方々も理解できる内容で要請していますが、現在はその状況に至っておりません。全国には道の駅が1,000店以上あるうち8割が赤字であろうとマスコミの報道もあります。

**当局回答** ご意見のとおり、将来に向けた施設運営を目標としております。売れるものをつくり、販売し、収入を上げていき、農地の利活用の増大や農業就業者の育成を進めていきたいと考えています。

施設の整備には多額の資金を要するため、市の一般財源負担を少なくするためにも、国の補助事業の採択は、事業達成のための1プロセスであることをご理解願います。補助事業は、通常5年以内の事業期間で完了することが条件になっていることをご承知願います。

意欲ある農業生産者の育成のための支援措置等について、関係機関とともに検討し、施策を構築していかなければならないと考えていますので、市の所管課、JAみやぎ仙南、宮城県などと連携していきたいと考えています。

また、道の駅での実施事業についても補足いたしますと、自治体の補助事業や委託事業(新商品開発業務や情報発信業務等)を受託するなど、補助事業に取り組んでいるところが多数あります。

自治体からの補助を受けている道の駅が8割というマスコミ報道の詳細は不明ですが、その支出内容が人件費補助なのか業務実施のための補助なのか判断しないと、一概に赤字補てんとは言えませんので、道の駅への補助金＝道の駅は経営赤字ということにはならないことも承知願います。【道の駅整備室】

No.105

道の駅に関する事

## 意見・質問・要望等

宮城県内に道の駅はいくつあって、黒字になっているのはいくつあるのか。【西根自治センター】

## 当日の回答

詳細の資料はありませんが、赤字黒字の判定基準で、県内の道の駅の決算書に目を通したことがあり、その中で赤字を決算している所は無いと思います。管理委託費も含め公から金を出し、数字上で赤字にならない仕掛けがあります。問題は公的資金を最小限にして、加工販売で利益を上げ、自立できることが重要であります。

## 当局回答

県内の道の駅の管理運営会社は、道の駅だけでなく他の施設も管理している会社もあり、一概に黒字、赤字ということではできませんが、どこかの道の駅も地域に根ざした活動を展開し、農業生産者や加工品製造者の収入額増加の一助となっています。

角田市に整備する賑わいの交流拠点施設(道の駅)についても、生産者や加工品出荷者、市内商業者と連携を図りながら、黒字経営になるよう、しっかりとした体制を構築し、健全な経営ができるよう計画づくりを進めていきます。【道の駅整備室】

No.106

道の駅に関する事

## 意見・質問・要望等

ある道の駅では、生産者が高齢化で農産物を出荷できないところもあり、二の舞にならないようにすべきであり、市の足かせになるのでは困る。【西根自治センター】

## 当日の回答

先を見据え、5年後、10年後に農産物を供給できる体制を構築していくことが必要であります。議会としても、しっかりチェックしていきます。

## 当局回答

ご意見のとおり、農業就業者は高齢化が進んでいますが、ある一方では若き農業就業者や後継者もおります。肝心なのは、農業で生計を営む方たちの経営をどのように方向付け、市としてどのような施策を展開していくかが重要と考えています。【道の駅整備室】

No.107

道の駅に関する事

## 意見・質問・要望等

角田市全体として、後継者問題があり、物を確保するのに厳しい状況にある。市内にも直売所があると思うが、共倒れの可能性もある。十分に議論を重ねて取り組むべきではないか。【西根自治センター】

## 当日の回答

生産者と十分にコミュニケーションを取りながら取り組んでいかなければならない問題とっております。固定客の呼ぶためには、スポーツ団体等とも連携が必要と考えています。

## 当局回答

市内の直売所は、生産者自らが販売に携わっているのではなく、売り子を配置して営業していると伺っています。そのほとんどが週末、または、休日営業となっており、売上は悪くはないと聞いていますが、売り子の人件費で、生産者の手取りはそう多くはないとも伺っています。

これらの直売所に出荷している生産者の農産物が一同に会し、道の駅の直売所で生産品を販売すれば、販売に従事する時間を生産活動に充てることができ、売り子の人件費も他の出荷者と供出することから、手取り額は増えることが予想されます。

儲かる農業を進めていくことで、後継者の育成や産地形成を進めていくことも可能ではないかと考えています。

ご意見の共倒れは絶対にはありませんので、しっかりした体制作りと支援施策を構築していきます。【道の駅整備室】



No. 108

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

1月の全戸配布で「賑わいの交流拠点施設の整備実施計画(案)の概要について」という資料が配布された。以前の計画より縮小したと聞いたが、そうなのか。【枝野自治センター】

**当日の回答**

当初の計画2.8haから2.1haに縮小されました。道の駅は交流人口の拡大と地域産業発展の施策の一つです。枝野地区振興協議会からも要望が出ていますが、今回示されたものに対し、議会が納得しているものではありません。早急に議会として納得でき、市民の皆さんも安心できる計画を出すように要望しているところです。

**当局回答**

東日本大震災以後の建設費の高騰、今後の市の財政状況等を考慮して、整備に必要な基本機能はそのままに、整備規模を2.1haに縮小した実施計画(案)を市議会に説明しています。一方で、中央公園との一体利用のご意見もありますので、財政状況等を考慮しながら、望ましい整備規模を早急に決定していきたいと考えています。【道の駅整備室】

No. 109

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

道の駅は5年前の長期計画の中で決議されている計画だ。7、8割が賛成であれば実施していいのではないか。財政の見通しも財政調整基金残高に問題はなさそうだし、市民への説明も、今回、概要で示された。議員の中で議論を深めてほしい。【枝野自治センター】

**当日の回答**

第9回議会報告会で財政的な不安について多くの意見が出されましたので、当局に伝え回答を待っているところです。財政的には財政調整基金を取り崩すより「ふるさと納税」を増額させ、財源に充てるなど努力すべきです。道の駅の運営については失敗は許されず、本気で取り組む考えです。

**当局回答**

今後の財政の見通しですが、現在、策定中である長期総合計画実施計画に合わせて、平成28年度から平成30年度まで3年間の計画で算出しました。

この3年間には、賑わいの交流拠点施設整備事業や保育所整備事業などの大規模事業を見込んでいるが、これらの大規模事業が終了する平成30年度末においては、財政調整基金の残高は10億円以上を確保できる見込となっており、角田市の財政調整基金の適正規模である8億円を上回る状況となる見込みとなっています。

市債の残高は、平成29年度に過去最高の約145億円となり、平成30年度から平成40年度までは、元利償還金が増加するため、財政負担が大きくなりますが、元利償還金の地方交付税措置分を除いた一般財源の持ち出しについては、平成18年度以前よりも少ない状況となります。

財政負担が少ないとはいえ、今後も引き続き、減債基金の活用や行財政改革を強力に推し進め、財源の確保を図り、常時、政調整基金残高10億円以上を確保しながら、持続可能な財政運営を進めていくこととしています。【道の駅整備室】

No. 110

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

道の駅を運営する会社がどのような経営をしていくかが問題だ。どのように考えるか。【枝野自治センター】

**当日の回答**

来たお客様をおもてなしし、利益を上げるのが目的です。営利目的の視点が必要です。

**当局回答**

施設の管理運営団体は、行政が実施することができない収益活動により、出荷者の安定収入を図るとともに、第3の公共を担う団体として、行政や市民と連携し、まちづくり会社としての役目を担える会社にしていきたいと考えています。【道の駅整備室】

No.111

道の駅に関すること

## 意見・質問・要望等

6年前から計画に携わっている。女性の立場から綺麗なトイレ、防災拠点施設としてヘリコプター発着所、休憩施設としてコンビニエンスストアがあれば良い。

産直販売は、当面、軽トラック市ができれば良いとの提案を行った。また、体育施設に多くの方が来るということで適地とされた。今、箱モノばかり話されているが、維持が大変だと心配する。小規模に始めて、拡大してはどうか。【枝野自治センター】

## 当日の回答

「スポーツ施設があって、人が利用することで賑わいが生まれ、そこで道の駅の必要性が生まれた」という当初の流れが説明されていません。計画メンバーの確認も含めて議会で取り上げていきます。

## 当局回答

ヘリコプターの発着場というご提案ですが、整備区域で常設ヘリポートの条件を満たすことは困難なので、角田市防災計画では、中央公園の多目的広場や芝生広場を想定しています(島田地区の山林火災で使用実績有り)。

産直販売の軽トラック利用は、短時間の販売であれば可能ですが、天候を気にせず、1日中、1年を通して農産物生産者が常駐して継続していくには無理があります。また、生産者が販売に従事することで、農産物生産のための時間が少なくなり、良質で安全・安心な農産物生産に支障をきたすのではないかと思います。また、購買客に、開催時間にだけ来てほしいという体制では、集客力を確保し続けることはできないと思います。

やはり、生産者と販売者がそれぞれ役割分担をしていくこと、場所や設備を整えることが必要となりますので、その機能を備えた賑わいの交流拠点施設は必要になってくると考えています。

実施計画(案)で示した施設の規模については、市民20人で構成したワークショップで提案された必要な機能を確保しつつ、過大な施設とならないよう計画しています。【道の駅整備室】

No.112

道の駅に関すること

## 意見・質問・要望等

道の駅に人を呼び込むために、運動公園エリアでのイベント開催も考えられる。イベントの開催時の阿武隈急行角田駅とのアクセスはどうするか。【枝野自治センター】

## 当日の回答

道の駅に関わらず、公園エリア全体が賑わいのエリアになれば当然アクセスは考えなければなりません。持ち帰り調査研究します。

## 当局回答

角田中央公園(特に陸上競技場や総合体育館)での市が関与するイベントでは、角田駅と会場との間にシャトルバスを運行するなどの交通支援を行っています。

道の駅で開催されるイベントについて、シャトルバスが必要なイベントであれば、交通支援についても検討していきたいと考えています。【道の駅整備室】

No.113

道の駅に関すること

## 意見・質問・要望等

イベント開催時の駐車場は足りているのか。【枝野自治センター】

## 当日の回答

来客数が3,000人を超える場合、エリア内、周辺の全ての駐車スペースを使ってやっと収容できる状況です。道の駅と言うことだけではなく、賑わい交流エリアとしての活用を考えれば、当然確保しなければならない重要なスペースです。

## 当局回答

道の駅の駐車場の確保台数は、交通量に基づき、実施計画(案)では、算出した台数を基本としつつ、整備区域で最大限可能な駐車台数を確保することとしています。

区域に隣接した県道角田山下線の計画交通量を基本に駐車台数を算出すると、基準となる駐車台数は、小型車75台、大型車4台となります。この駐車台数を基本(最低数)として、区域内で最大数の駐車場確保できるように施設の配置を計画することとし、小型車117台、大型バス6台としています。【道の駅整備室】

No. 114

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

先日、賑わいの交流拠点施設の実施計画(案)の概要が全戸に配布されたが、先に開催した全員協議会で議会も理解を示した内容なのか。

また、他地域からの交流人口や地元の住民が日常的に集うような施策も感じられない。もっと住民へのPRも含め、詳細な内容を公表し理解を得るような努力をしてほしい。【横倉自治センター】

**当日の回答**

まずは簡潔に申し上げますと、この件の予算を伴う議決は行ってませんので決定事項ではありません。この実施計画(案)は、前回の議会報告会で市民の皆様への説明不足との指摘を受け、当局として現時点で計画をしている内容をお知らせしたものと考えています。また、議会としては、平成27年11月16日開催の全員協議会において85件位いの質問や要望等があり、今後とも今回の報告会での皆さんの意見等も踏まえ慎重に審議していきます。

**当局回答**

現段階では、実施計画(案)の状況であり、整備事業の予算が市議会で可決いただければ、次の段階として交流事業や施設の活用策等について、ご意見を頂戴したいと考えています。【道の駅整備室】

No. 115

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

先日、道の駅の計画概要が配布されたが、市民に対しての説明が不十分ではないか。議会としてこの計画にどのように対応しているのか。【新丁三区区民会館】

**当日の回答**

市民の関心の高さを考えれば、もっと説明の機会を設け、市民の疑問や不安等に応える努力が必要と思われます。議会内にも様々な意見があり、議会報告会や角田市議会一般会議などでいただいた意見等を踏まえ、多くの質疑・要望・提言をしています。

地域経済に貢献できる計画となるよう、当局と議論している段階です。

**当局回答**

議会との議論を尽くして、しかるべき段階で再度広報かくだ、JAや商工会と連携して、農業者及び商工業者の皆様からご意見を頂戴して取りまとめ、周知を図りたいと考えています。【道の駅整備室】

No. 116

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

中央公園の施設利用者は、震災後増加しており、年間20万人以上になっている。この人たちをどう迎えるかということも念頭に、道の駅を検討してもらいたい。【新丁三区区民会館】

**当日の回答**

もっともなご意見と思います。交流人口の拡大や産業振興など、地方創生に関する大枠の施策の一環としてとらえており、提言もその方向で行っています。

**当局回答**

賑わいの交流拠点施設の集客数は、県道の交通量により約75万人(立寄り率は中間値を採用)としています。

この推計以外に、交通量(立寄り率最小)と中央公園利用者、近隣商圈からの購買客を合わせた集客数も推計しており、この場合は約72万人となっています。このうち、中央公園利用者は年間25万人のうち、約4割が立寄ることとして年間10万人と推計しており、中央公園の利用者は、重要な購買客と見ることができますので、中央公園利用者が喜ぶ施設運営もしていかなければならないと考えています。【道の駅整備室】



No.117

道の駅に関すること

## 意見・質問・要望等

道の駅に関する、議会からの85件の意見・提言などがすべてクリアすれば承認するという事なのか。【新丁三区区民会館】

## 当日の回答

85件すべてクリアすることが承認条件という意味ではなく、議会や市民がどの程度理解し納得できるものか、というのが判断の基準になるものと思います。

## 当局回答

着手前に全てをクリアすることは難しいこともあり、事業の準備段階、実施の過程においても、常に改善を行って、より良い状況で進めていきたいと考えています。  
いずれのご意見も、道の駅を整備・運営していくのに必要なことでありますので、ご期待に応えられるよう努めます。【道の駅整備室】

No.118

道の駅に関すること

## 意見・質問・要望等

道の駅に出品する農産物などは、農業の後継者不足の点から不安が残る。体制作りをよく検討してもらいたい。【新丁三区区民会館】

## 当日の回答

市の60代の農業者に対するアンケートによると、75%が10年後には離農、もしくは見通しが立たないと回答しています。商業の面でも、後継者の問題は、深刻な状況にあります。そのような現実を織り込みながら対処していきます。

## 当局回答

農業だけでなく、商業との連携は不可欠ですので、連携体制の強化を図っていきたいと考えています。  
また、いかにして街なかへ誘客を図るかについても、商工会、商店、飲食店等と検討をしていきます。【道の駅整備室】

No.119

道の駅に関すること

## 意見・質問・要望等

市民センターなどとは違って、道の駅で恩恵を受けるのは一部の生産者とか隈東地区の人とかだけではないのか。そんな金があるのなら、国民健康保険税を引き下げる等に使った方が市民のためになる。住民投票で市民の意思を問うべきではないか。維持費だけでも年間一億円はかかるだろう。減価償却をみていないのもおかしい。【豊室公民館】

## 当日の回答

道の駅は、第5次長期総合計画の重点プロジェクトのひとつとして、交流人口拡大、地場産業振興等を目的としている。施設の役割は①トイレ・休憩・情報案内などの「道の駅機能」、②農産物直売・加工販売・日用品販売・レストラン等の「地域振興機能」に大別されます。  
管理運営は第3セクターの新会社で行い、①の部門は指定管理制度により市から管理委託費が出ます。②の部門は、新会社が経費を賄う計画です。

## 当局回答

地域の活性化を図っていくためには、公共の施設であっても、儲かる仕組みを作っていく必要があります。賑わいの交流拠点施設は、その一つであり、道の駅というブランド、ネームバリューを活かし、地域の特産品を販売しながら、市外から購買客を積極的に誘致することも、地域の活性化には必要な施策の一つと考えています。  
隈東、隈西といった地域分けで考えるのではなく、角田市全体で盛り上げていくことが重要と考えています。  
施設の維持管理は、指定管理により、第三セクターが行うことを計画しています。維持費については、道の駅機能施設は公の施設で収益が伴わないので市が負担(年間約1,000万円)となりますが、直売所等の地域振興施設については、管理運営会社が維持費を負担します。  
建物は市の財産なので減価償却は行いませんが、管理運営会社が取得した機器については、原価償却の対象になります。  
国民健康保険税については、特別会計ですので、当該整備事業費相当額を特別会計に補てんすることはできないと考えます。【道の駅整備室】



No. 120

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

道の駅を作ることに前のめりになっているようだが、その前に、蔵王町にあるキツネ村が外国人観光客で賑わっているとか、納豆や豆腐のブランド化で高値で販売している町があるとかの例のように、まずは角田市に人を集める工夫や高付加価値化を優先すべきではないか。【豊室公民館】

**当日の回答**

大事なお指摘と思います。道の駅単体に限らず、体育施設関連の利便性向上、河川敷の整備・利用など多角的・総合的に可能性を探りながら、交流人口の増加や地域経済振興につなげていくべきと思います。

**当局回答**

人口減少、少子高齢化が進展する中、どのようにしてまちの活性化を図るかが重要であり、そのためにも市外からの交流人口を増加させていくことが必要になってきます。

行政が販売事業をすることはできないので、取り組みに対する契機づくり、ものづくりや生産をされる方々の支援、角田市への誘客について取り組んでいきたいと考えています。

付加価値やブランドの認知は、生産者ではなく消費者が行うものであり、消費者が喜ぶものづくりを進めていけるよう、支援体制の構築を考えていきます。【道の駅整備室】

No. 121

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

道の駅を作って、果たしてどのようなメリットがあるのか。議員はどのように考えているのか。賛成するのか、反対するのか聞きたい。

個人のお客のみでなく、団体客、バスで来て食事をするなど、山元町の方が来ることを想定しているのだろうか。

市は調査していると思うが、その予算を他の事業に充ててはどうか。【中島区公民館】

**当日の回答**

現在、道の駅については検討中であり、議員個人の意見は控えさせていただきます。

議会としても市民の皆さんの意見を収集すべく、この議会報告会や角田市議会一般会議を開催し、平成28年1月に農業経営者会議の皆さんと、2月には商工会員の皆さんからご意見を伺い、総合的に判断したいと考えています。

**当局回答**

賑わいの交流拠点施設に期待される効果として、「農業生産者の収入の増大」、「地域内発型産業の創出」、「体験型観光の推進による交流人口の増大」、「移住・定住に向けた情報発信の強化」、「中心市街地の活性化」、「角田中央公園利用者へのサービスの向上」などが考えられます。

県道角田山下線を通過する道路利用者、角田市や近隣市町(商圏)の住民、角田中央公園の利用者を集客ターゲットとして計画しています。【道の駅整備室】

No. 122

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

道の駅について、財政問題はどうか。最初から施設を大きく作り、赤字にさせるのではなく、最初は施設を小さく作り、徐々に増設していくようにしてはどうか。

また、個人・団体が参加できるようにしていくこと。利害関係はあると思うが、市民が盛り上がるような道の駅にすべきだと思う。【中島区公民館】

**当日の回答**

良い考えだと思います。そのような提案があったことを、当局に伝えます。

**当局回答**

平成27年11月に議会に対して実施計画(案)で提示した事業費を含めて、今後の財政の見通しを示しています。

実施計画(案)では整備規模2.1ha、整備事業費11億円となっていますが、財政調整基金は毎年10億円規模を維持し、市債残高も過去の水準を超えない見通しです。

ご意見のとおり、施設の活気は市民が参加していかなければ盛り上がりません。角田中央公園と併せて、市民のみなさんが憩える空間にしていきたいと考えています。【道の駅整備室】

No. 123

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

道の駅について、議会の全員協議会で説明を受け、全員協議会では了解したのか。それとも報告を受けただけということか。計画を作る段階で、市の審議会があり、市長の選んだブレインで計画を作っていて、全員協議会で報告しただけで、一般市民には報告できていないのではないか。一般市民も参加して計画するように議会からも伝えてほしい。道の駅を作ることが、市の活性化になるか分からない。【中島区公民館】

**当日の回答**

全員協議会で説明を受けました。説明の内容は、平成28年初めに広報と一緒に道の駅の概要が掲載されている資料が配られました。まだ決定ではなく、今後、議会報告会や一般会議を通じて、市民の皆さんのご意見を伺い、議会として総合的に判断していくようになると思います。

**当局回答**

賑わいの交流拠点施設の単体だけで、地域活性化は図れませんが、地域活性化の一翼を担い、市民が集い、憩い、交流の場とすることで、交流人口を増やしていくことを目的の一つとしているほか、角田中央公園との連携により、中央公園利用者の利便性(飲食サービス)を図ることで、中央公園利用者の増大を図っていきます。

計画については現在審議中であり、議会の承認をいただければ、再度広報かくだ等で周知を図っていきます。【道の駅整備室】

No. 124

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

道の駅について、ある程度のリスクを負わなければ何もできない。角田中央公園は集客力があるので、チャンスを活かし、早期に実施してほしい。【藤尾自治センター】

**当日の回答**

道の駅については、現在、検討中です。議会報告会や角田市議会一般会議を通じて、市民の皆さんのご意見を集約して、総合的に判断したいと考えています。

**当局回答**

経営リスクを払拭できるように、経営計画を練りあげて、農商工連携と市民が積極的に参加する道の駅にしていきたいと考えています。【道の駅整備室】

No.125

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等** 道の駅の計画について、市の外部からも入ってもらい計画を進めるべきではないか。【藤尾自治センター】

**当日の回答** 当局に伝えます。

**当局回答** 平成28年度は経営計画を立てる予定としています。業務は、直売所や道の駅の計画に多く携わった事業者を選定したいと考えていますし、検討委員会では市民を初め、農業者、商業者、中央公園利用者、識見の豊かな方をお願いしたいと考えています。【道の駅整備室】

No.126

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等** 道の駅について、維持費・収支はどうなっていて、費用をかけて作るメリットはあるのか。【東根自治センター】

**当日の回答** 「賑わいの交流拠点施設の整備実施計画(案)の概要について」に記されている通りですが、これからもよく検討します。

**当局回答** 道の駅が全国に1,000箇所以上も整備されている理由は、地域の方々の収入の増大と交流人口の増大に取り組むためです。道の駅のリピーターを生むことで経済的な好影響を与えています。ただ、施設をつくるだけではなく、いかにして魅力のある施設にしていくかが重要と考えています。維持管理費については、道の駅機能施設は市が負担し、地域振興機能施設は収益施設であるため、管理運営団体が負担します。人口減少、少子高齢化が進む現在、定住者を確保し、移住者を獲得していくためには、そのまちの魅力を向上させ、交流人口を確保していくことが必要であり、その一つの手段として、全国の自治体では「道の駅」を地域情報の発信と地域特産物の販売拠点として位置付けて整備しており、整備計画が進められています。【道の駅整備室】

No.127

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等** 道の駅を作った場合の経済効果はあるのか。無ければ作らなくても良いのではないか。【東根自治センター】

**当日の回答** 今後の検討材料として、お伺いします。

**当局回答** 道の駅で経済効果はあるのかということについては、あるという回答になります。角田の農産物が市場を通じた販売ではなく、直接生産者へ収入が入ることになります。また加工品開発により付加価値をつけた農産物は、プラスαの収入を生みます。また、計画では22人の雇用もありますので、市民所得の向上と市税の増収にもつながります。【道の駅整備室】

No.128

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等** 道の駅で農家が潤うやり方であれば良いと思う。【東根自治センター】

**当日の回答** ご意見として伺っておきます。

**当局回答** 消極的な販売ではなく、積極的な販売をしていくことが農業あるいは地域の活性化にもつながります。農家が潤うためには、良い品物を自信を持って提供していくことが必要になりますので、そのための支援策等について、早急に検討していきます。【道の駅整備室】

No. 129

道の駅に関すること

## 意見・質問・要望等

山元町でショッピングセンターを計画していると聞いたが、角田の道の駅と競合するのではないか。【東根自治センター】

## 当日の回答

復興予算で山元町は道の駅を検討しているようです。詳しくはこれからだと思います。

## 当局回答

道の駅と山元町で計画している商業集積区域整備については、取扱商品からすれば競合する部分は出てくると思われますが、商圏的には3次商圏(半径10キロ)となるので、影響は少ないと考えられます。【道の駅整備室】

No. 130

道の駅に関すること

## 意見・質問・要望等

道の駅建設について、市長はやる気満々であるが、道の駅が本当に必要なのか、場所もあそこが良いのか。議会としても、しっかりと検討願いたい。【小田自治センター】

## 当日の回答

市民との角田市議会一般会議を行うなど広く市民の意見をいただく機会を設け判断していきます。

## 当局回答

ご意見の中には、道の駅以外の施策でも地域活性化が図れるのではないかと、道路を作ればいいのか、補助金を出せばいいのか等、様々ありますが、第5次長期総合計画の策定段階では重要プロジェクトの「交流人口100万人都市への挑戦」を具現化する施策として、賑わいの交流拠点施設の整備が位置付けられています。

場所としては、角田・山元トンネルの開通後、格段に交通量が増加した県道角田山下線沿いで、かつ年間約25万人の利用がある角田中央公園周辺が最もふさわしいと考えています。【道の駅整備室】

No. 131

道の駅に関すること

## 意見・質問・要望等

道の駅について、どのような考え方でいくのか。【桜自治センター】

## 当日の回答

平成27年11月に全員協議会で説明を受けました。これが、角田市の活性化に繋がるのか、収益を得ていくことができるのか不安を持っている議員もいます。「道の駅」の運営に入ってくれる団体がいるのか等不安な部分が多々あります。机上の提案ではなく、具体的な、実質のある踏み込んだ提案を当局にさらに望む態度でいます。議員は賛成、反対の意見で拮抗していると思います。議会としての統一した意思をまとめられる情報がない段階です。

## 当局回答

賑わいの交流拠点施設に期待される効果として、「農業生産者の収入の増大」、「地域内発型産業の創出」、「体験型観光の推進による交流人口の増大」、「移住・定住に向けた情報発信の強化」、「中心市街地の活性化」、「角田中央公園利用者へのサービスの向上」などが考えられます。

賑わいの交流拠点施設は、県道角田山下線を通る道路利用者、角田市や近隣市町(商圏)の住民、角田中央公園の利用者を集客ターゲットとして計画しており、年間75万人の利用者がいると推計しています。

施設の維持管理・運営は、第三セクターが指定管理することで計画しており、収益を伴わない道の駅機能施設は指定管理料の対象とし、収益を伴う地域振興機能施設は、管理運営団体が収益活動を行い、その利益は従業員の賃金、施設の維持管理費用を負担することとしています。【道の駅整備室】



## 意見・質問・要望等

道の駅を建設するにあたり、交通量調査をしているようだが、本当に、お客が来るのか。【桜自治センター】

## 当日の回答

その心配も理解できます。議員もそのことを質問しましたが、あくまで統計上、想定する数字であります。議会として、良い結論を見出していくためにも、いろんなご意見をお聞きしながら判断していきたいと思えます。

## 当局回答

このような施設の集客については、一般的には交通量を基本に施設の設計をしています。この交通量から算出した集客数は、年間75万人と推計しています。  
もう一つの算出方法として、整備区域は年間約25万人の利用者がいる角田中央公園という特異な立地でもあることから、道路交通量＋施設利用者＋周辺商圏の購買客という考え方で算出しても、年間約72万人の集客が可能と推計しています。【道の駅整備室】

## 意見・質問・要望等

①道の駅だが、実際に、これでやっていけるのか。当初の計画では目玉がないので、温泉施設があっても良いのではないか。これでやっていけるのかという不安がぬぐえない。議会でもっと詰めてほしい。平成27年11月16日の全員協議会で各議員から意見を述べたということだが、中味はなんだったのか。【北郷自治センター】  
②道の駅に関して、黒字になるにはどうしたらいいか、先進事例をもっと調査すべきだ。例えば、温泉は人を呼ぶにはいい戦略で、もちぶた館の賑わいを見れば一目瞭然だと思う。アイデア次第で、どうにでもなると思う。それを考えるのが、行政であり議会ではないか。【中島下区民会館】

## 当日の回答

①平成27年3月から今日までの協議経過を説明。  
温泉施設に関しては、財政背景などから削られました。直近の交通量調査を行うべきではとの指摘に関しては、国土交通省調査データの引用で可能とのことから、再実施はしないということです。  
議会としては、本当にこれでやっていけるのか、何か特色を持たせたものという指摘をしていますが、現時点では賛否判断には至っていないのが現状です。  
②議会としても、市民の皆様の意見を十二分に生かし、ベストの選択をしたいと考えています。なお、当局にも伝え、お互いに切磋琢磨して結論を出していきたいと思えます。

## 当局回答

温浴施設は、集客に効果があることは認識しております。しかし、その整備費は掘削費用と施設整備を合わせると5億円以上の費用が必要です。この施設整備には補助制度がありませんので、市が整備するとなれば、全額市の負担となります。また、メンテナンス費用も高額であるため、かなりの財政負担になることが予想されますので、基本計画では、民間事業者の誘致を図りたいとしています。  
民間事業者の進出には、周囲20キロ圏内の日帰り温泉として、亘理町・鳥の海温泉、大河原町・もち豚館いい湯、白石市・湯っぽがあり、角田市に整備するとしても、経営を維持できる利用客の確保ができるかどうかという視点もありますので、そう簡単にはいかないと考えています。【道の駅整備室】

## 意見・質問・要望等

地元企業であるケーヒンで希望退職を募るといった話が聞こえてくるし、TPPの圧力もあり危機感がつの中、市長が進める交流拠点施設整備だが、市も議会も市民も一緒になってやっついていかないと、これから先、どうなるのか心配だ。これまでのような危機感のない話はやめてほしい。【北郷自治センター】

## 当日の回答

要望として受け止めておきます。  
危機感云々とありましたが、それぞれの議員は各々のバックボーン、後押ししてくださっている方々の声や政策を持って議論しているので、危機感がないなどということはありません。  
今は、こうした市民の皆様の意見や要望を把握し、市民の総意を掌握してる段階ということですので、ご理解いただきたいと思えます。

## 当局回答

市としては、「活力あるまちづくり」をどのように進めていくかという危機感があります。  
行政だけがこの対策を講じてもうまくいかないことは多々あり、やはり住民が積極的に関与、参加していくことが、継続的なまちづくり活動には必要です。  
ご意見のとおり、今後も市民の積極的な参加をお願いします。【道の駅整備室】

## 意見・質問・要望等

先ほど、道の駅をコンパクトにするという話が出たが、予算が少なければ賛成ということか。どういった案を議会では持っているのか。  
道の駅が全国で何ヵ所あるのか。どんな経営状況なのか。赤字になれば結局、各自治体の責任ということになるのか心配だ。議員はもっと勉強すべきだ。【北郷自治センター】

## 当日の回答

コンパクトであれば良いというのではなく、5億円から膨れ上がった経緯を説明されていないので、皆さんの意見を聞きながら本気で取り組んでいくつもりです。

## 当局回答

基本計画で示した整備内容では、過大ではないか、建設費が高騰しており、財政的に圧迫しないか、また今後の財政の見通しは大丈夫か等の意見があり、基本計画で示した施設機能を保持し、なおかつ、財政的に圧迫しないように、事業費の見直しを行いながら、実施計画(案)で示したとおり、整備区域を2.1haに縮小したものです。  
道の駅は、平成27年11月の登録で1,000駅以上となっています。施設の運営は、地方自治体の直営、団体への委託又は指定管理などで行なわれており、地方自治体の直営が約16%、第三セクター運営が約31%、財団法人等への委託が約9%、指定管理が約44%となっています。  
市で計画している施設の管理運営方式は、市が第3セクターに管理運営を全面委託(指定管理)し、市は資本的な事業投資、経営に係わる助言・助成を行い、株主的立場に徹するケースを想定しています。この場合、運営主体は営業収支、販売促進、コスト管理面等の全てに経営責任を負っているため、民間同様の考え方に徹した営業努力が求められます。  
実施計画(案)で示した収支計画(案)については、過大な計算とならないよう、算定数値を設定して推計しています。運営主体は損益分岐点となる営業収入を常に上回る努力を行い、安定経営にむけたPDCAサイクル(P…計画、D…実施・実行、C…点検・評価、A…処置・改善)を行うこととなります。

No. 136

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

農業問題の解決策の延長に道の駅が道しるべとしてあるのであれば、反対はしないしどんどん進めてほしいが、今はそう見えない。市の計画を仲間うちで検討したが、この数字は、どこから出てきたのか。結論ありきで、他から持ってきた数字を並べて本当に大丈夫なのか。【北郷自治センター】

**当日の回答**

要望として、担当課にお伝えします。

**当局回答**

農業所得の低迷との解決の一助として、賑わいの交流拠点施設(地域振興機能施設)を考えています。施設の維持管理費は、実例や設置器具等の想定をしながら算定しています。また収入については、確保可能な年間集客数や標準的な営業利益率を用いて算定しました。机上ではありますが、結論ありきで算出したものではありません。【道の駅整備室】

No. 137

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

道の駅に関する補助金は、国と県だけなのか。もう少し研究してほしい。【北郷自治センター】

**当日の回答**

要望として、担当課にお伝えします。

**当局回答**

施設整備の補助制度については、国(国土交通省及び農林水産省)、県(建築費のうち条件にあったもの又は指定された材料を使用した備品等)しかありません。もう一つの方法は、PFI方式(公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用する手法)による施設整備がありまして、民間が一括して整備し、それを自治体を買取り(分割も可)するものです。その際は一般財源で負担することとなりますが、長期スパンの返済となるので1年ごとの負担は少ないというメリットと民間の利率により返済するので、支払い総額が大きくなるというデメリットもあります。【道の駅整備室】

No. 138

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

道の駅の採算性についてだが、作った後はお任せでなく、どうやったら採算が取れるのか。利益が出る方法を見い出してほしい。県北の人たちに言わせると、県南と言うと亙理町・丸森町の名が挙がる。角田市は、知名度が低いので頑張ってもらいたい。【北郷自治センター】

**当日の回答**

要望として当局に伝えます。

**当局回答**

市で計画している施設の管理運営方式は、市が第3セクターに管理運営を全面委託(指定管理)し、市は資本的な事業投資、経営に係わる助言・助成を行い、株主的立場に徹するケースを想定しています。この場合、運営主体は営業収支、販売促進、コスト管理面等の全てに経営責任を負っているため、民間同様の考え方に徹した営業努力が求められることから、しっかりした経営計画を練っていくこととしています。【道の駅整備室】

No. 139

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

大河原町にあるもち豚館は、風呂あり食事ありお土産も買えるということで、常に満杯状態だ。こうした近くの実績ある施設をもっと調査研究し活かすべきではないか。【北郷自治センター】

**当日の回答**

要望として当局に伝えます。

**当局回答**

もちぶた館いい湯は、接客サービスや畜産加工品等は参考にすべき業態であることは認識していますが、道の駅という業態は、販売、飲食サービス、情報提供のほか、第三の公共の担い手としての活動が求められます。

従業員のスタンスについては参考とすべきものと考えています。しかし、リピーターの多い道の駅の運営を目指していくためには、やはり道の駅を参考とすることが良いと思います。【道の駅整備室】

No. 140

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

道の駅の計画案について、市民への説明の仕方をもっと丁寧にするべきではないか。説明の方法の工夫が必要ではないか。【東田町公民館】

**当日の回答**

議会としても当局に同様のことを求めています。年始めに道の駅の概要が全戸配布されましたが、それだけではまだまだ足りないと考えています。また、当報告会においても市民の皆様のお声をいただき、計画案への検討材料にしたいと思えます。

**当局回答**

現段階においては、計画の概略を説明するための基本事項を整理したものであり、今後は具体的な取り組みや参加の要請、とりまとめ等になります。

事業の進捗に併せて、広報かくだをはじめ、地区別の説明を行なっていきたいと考えています。【道の駅整備室】

No. 141

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

道の駅の整備計画を見たが、トイレや駐車場が減っているが大丈夫なのか。

特にトイレは、訪れる高齢者のことを考慮して増やすべきだ。【中島下区民会館】

**当日の回答**

規模が縮小したことから、減ったのだと思います。トイレの件については、担当課に伝えます。

**当局回答**

駐車場の標準的な駐車マスは、隣接道路の交通量を基本に算定し、トイレは駐車マス数により算定します。

県道角田山元線の計画交通量を基本に駐車台数を算出すると、基準となる駐車台数は小型車75台、大型車4台ですが、整備区域内で最大限確保することとし、小型車117台、大型バス6台としており、トイレの数については、この駐車台数を基本として算定し、17人が同時利用できる規模として、男性9(大3、小6)、女性6(大6)、多目的トイレ1(大1)、授乳室1としています。

トイレの整備費は、建築物の箇所としては最も建築単価が高くなりますので、全体事業費を考慮しながら、基本設計段階で整備規模を検討したいと考えています。【道の駅整備室】



No. 142

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

道の駅は、防災機能も備えていると聞いているが、洪水により、阿武隈川が増水したらどうするのか。【中島下区民会館】

**当日の回答**

洪水時の避難場所には想定していません。洪水以外の災害の際に、消防団等の防災拠点等に利用する計画と聞いています。  
なお、当局にも伝えます。

**当局回答**

道の駅の防災機能は、避難所のような長期の避難滞在機能は考慮していません。  
大雨や地震等の災害が発生した際には、道路利用者の一時的な避難場所、施設近隣の住民の一時避難場所、防災情報の提供、自衛隊や消防士等の救援活動拠点としての利用を想定しています。  
ヘリコプターの離着陸については、総合体育館周辺は常設ヘリポートの条件を満たすことは困難なので、中央公園の多目的広場や芝生広場の使用を想定しています。【道の駅整備室】

No. 143

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

道の駅の計画案について、具体的な進捗が見えない。地元経営者の意見を積極的に聞くべきではないか。予算の積算についてもおかしい。工事費が、なぜ、あのように高額となるのか疑問だ。地元商工業者の力を借りながら早急に進めるべきだ。【街なか交流サロン「ひだまり」】

**当日の回答**

道の駅整備室に詳細且つ丁寧な説明を行うよう求めています。具体的な資料提出も併せて求めています。

**当局回答**

公共工事には、民間工事と違って、適正な施行監理を行うための経費が契約額に含まれています。また、設計に用いる建設資材等は市場価格が採用されており、特に東日本大震災以後は、受注側の資材確保や人材確保のために価格が高騰し、現在は高止まりという状況にあります。  
公共工事の受注には、市へ指名業者参加願いを提出していること等も条件となるので、地元商工業者も指名業者への登録をお願いします。  
また、複数の個人事業者が連携して受注をする場合には、法人化されていることも必要となるので、そういった受注体制を整えていただくことも考慮していただきたいと思えます。【道の駅整備室】

No. 144

道の駅に関すること

**意見・質問・要望等**

仮に道の駅が完成したとして、既存商店街活性化とどうリンクするのか。【街なか交流サロン「ひだまり」】

**当日の回答**

道の駅に商店街の商品を置くことが、活性化に繋がるとの当局説明です。しかし、果たして現実的かどうかは疑問を持っています。

**当局回答**

まず、道の駅に商品を陳列し、販売することがお店や商品のPRになります。立寄り客は、各商店の自慢の品の存在は知りませんので、まずは周知させることが必要です。  
その周知を行う場所として、道の駅を既存商店のアンテナショップとして利用してほしいと考えています。  
道の駅では、各商店の自慢の品をPRしながら販売し、既存商店への誘客を行ったり、既存商店と連携して、スタンプラリーを行って、完走者にはポイントを差し上げ、満点になれば商品を提供するなどの集客イベントの計画などが必要と思われれます。  
具体的な対策は、商工会、商店街と連携しながら構築していくことが必要と考えています。【道の駅整備室】

## 意見・質問・要望等

道の駅を作る是非から考えてほしい。計画にある売上高、来客者数とも現実的とは思えない。全国の道の駅の平均売上を上回る数値の根拠は何か。生鮮食品は他スーパーも扱っており競争にならない。帝国データバンク等の有益な民間データを活用するなどしているのか。実施計画が「計画」としての体をなしていない。【街なか交流サロン「ひだまり」】

## 当日の回答

実施計画にある数値は、期待も込めた数値ではないかと捉えています。道の駅の計画の是非も含めて、皆様のご意見を元に検討します。

## 当局回答

このような施設の集客については、一般的には交通量を基本にした集客数を算定して、施設の必要規模を設定して設計をしています。本計画では、交通量から算出した集客数を年間75万人と推計しています。

交通量以外の算出方法として、次のような算出もしています。

整備区域は年間約25万人の利用者がいる角田中央公園という特異な立地でもあることから、道路交通量＋施設利用者＋周辺商圏の購買客という考え方で算出しても、年間約72万人の集客が可能と推計しています。

このことから、実施計画(案)で示した年間75万人という集客数は、不可能な数値ではないと考えています。

平均売上については、実施計画(案)で示した既往調査(平成18年)では全国平均が960円、県内の農産物直売所の購買単価(平成19年)は700円～1,250円で平均983円であるため、1,000円と設定しています。近年の調査では、購買単価が1,039円、売れ行きの良い商品単価は506円～577円という結果が出ており、実施計画で示した購買単価1,000円は妥当な金額設定と考えています。【道の駅整備

## 意見・質問・要望等

行政は予算を執行する立場であり、お金を産み出す機関ではない。角田市議会一般会議で農業経営者が産直運営に不安感を抱いているのになぜこだわるのか。その行政が道の駅の計画を進めるにあたり、民間の先を読む経営能力が必要であると思うがどうか。また既存施設との有機的な連携が見えない。【街なか交流サロン「ひだまり」】

## 当日の回答

皆様のご意見は貴重なものです。先般の角田市議会一般会議でいただいたご意見も尊重しながら議会としてしっかり検討していきます。

## 当局回答

賑わいの交流拠点施設の整備は、平成23年に策定した第5次長期総合計画の重要プロジェクトの一つ「交流人口100万人への挑戦」を具体化する施策として位置付けています。

新しい施策に対する不安感があることは当然だと思いますが、何もしないままで現状を打開していくことはできないと考えています。

ご意見のように民間の先を読む経営能力は、今後の行政運営には必要と考えますので、諸計画の策定にあたっては、市民や民間事業者と連携しながら、進めていきたいと考えています。

既存施設との連携ではありますが、基本計画では隣接する角田中央公園との連携について、市民で構成したワークショップで提案されており、これらの提案については、道の駅機能施設で担っていくこととしています。

具体的な連携方法については、施設の管理者及び利用者等との意見交換を行い、実施に向けた検討を進めていきたいと考えています。【道の駅整備室】

No. 147

雇用促進住宅に関すること

**意見・質問・要望等**

雇用促進住宅の入居者が、80世帯中、現在25世帯くらいいる。以前閉鎖することとなっていたが、東日本大震災後に、みなし仮設住宅として入居している。

平成27年秋に塗装や雨漏りの修繕を行ったが、無駄なことをやっているのではないのか。今後の雇用促進住宅の使用計画を調査してほしい。【中島区公民館】

**当日の回答**

平成33年度で全世帯退去の予定になっているはずですが、なお、当局に確認します。

**当局回答**

雇用促進住宅は、平成20年に入居者の退去を促進する取り組みを実施し、平成33年度までに廃止する方針となっていました。

しかし、震災後、被災者を支援するため、この取り組みを平成27年3月まで中断(東日本大震災の被災者に限り、平成28年3月まで)しました。

平成26年12月、雇用促進住宅を管理している独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(以下「機構」という。)から市に対して当該住宅を市で取得しないかとの打診がありました。市では検討の結果、耐震性能が乏しく、耐震性に問題があるなど取得しても改修費用が多額になるとして取得しない旨、回答しました。

そのため、機構では、平成27年12月末までに入居者への説明会を経て、平成28年度～平成29年度に民間売却の交渉・入札を行うとしています。

今後の見通しは次のとおり。

→売却成立:家賃等条件は現状維持のまま、継続して最低10年間入居可能。

→売却不成立:平成29年10月頃～退去説明会、平成30年度～平成31年度

【商工観光課】

No. 148

市営住宅に関すること

**意見・質問・要望等**

①中島住宅をいつまでも放置せず、撤去するなら早く撤去した方が良いのではないか。計画があるとは思いますが、早めに対処してほしい。【中島区公民館】

②中島住宅を有効活用してほしい。【藤尾自治センター】

**当日の回答**

①当局に伝えます。

②要望として、当局に伝えます。

**当局回答**

第5次長期総合計画実施計画により公営住宅の整備事業を計画している。今後、政策企画課等と話し合い、市営住宅の敷地の余剰分についての有効活用を検討していきます。【建築住宅課】

No. 149

市営住宅に関すること

**意見・質問・要望等**

水上住宅について、ゴミ集積所におけるカラス被害の問題が発生し、担当課と相談しながら応急対応をしてはもらったものの、予算の関係など根本的な問題解決に至っていない現状がある。また、自治会では環境美化運動の一環として年に2～3回の敷地内の草刈りを、シルバー人材センターに依頼し協働で実施している。市においてもシルバー人材センターに依頼し、入口付近の機械設備付近のみを行っている。地元自治会としては、市との協働で一体管理した活動が何故できないのか疑問でもあり、強く要望するとともに検討結果を早急に知らせてほしい。【横倉自治センター】

**当日の回答**

自治会として環境美化に取り組む姿勢については、大変に意義があるものだと考えておりますし、それらの活動には感謝を申し上げます。これら2件の要望については資料の持ち合わせも無いことから、持ち帰らせていただき、予算審査特別委員会分科会や常任委員会で確認を行います。その結果等については早急にご連絡をいたします。

**当局回答**

水上住宅のごみ集積所に関しては、自治会・行政区と話し合いを持ち、ごみの分別指導や集積所小屋の設置をすることとしました。また、水上住宅内の敷地内の草刈については、自治会と連携を図りシルバー人材センターへ委託する時期などを同時期にすることで、環境美化を図っていきます。【建築住宅課】

No. 150

道路に関すること

**意見・質問・要望等**

専福寺から老ヶ崎団地に通じる道路を市で買い上げる話はどうなっているのか。【豊室公民館】

**当日の回答**

計画にあったと思いますが、念のため確認して、後日、報告します。

**当局回答**

市道無笹木線については、道路の改良整備に向けて地権者と用地取得の交渉中です。【土木課】

No. 151

道路に関すること

**意見・質問・要望等**

第9回議会報告会の結果を教えてください。No118土砂運搬事業者負担道路舗装工事、No119市道216号と市道1113号のT字路、No120市道1114号、No121市道1110号市道1111号については、どうなっているのか。【野田生活センター】

**当日の回答**

1カ所を除き、対応されていないのが現状です。市道は通常の通行量の範囲内であれば市が修繕費用を負担することになっています。現在の状況を当局に確認し、連絡します。

**当局回答**

路面がわだちになっている箇所等、損傷がひどい部分については、部分的に修繕していきます。【土木課】

No. 152

道路に関すること

**意見・質問・要望等**

野田の中道が非常に悪い。将来的には立派な道路になるのは分かるが、それまでの間、簡易な修復でいいので対応してもらえないのか。【野田生活センター】

**当日の回答**

当局に確認します。

**当局回答**

路面のポットホール(アスファルト舗装面にできる局所的な穴)などについては、随時対応しています。また、路面の損傷のひどい部分は、部分的に修繕していきます。【土木課】



No. 153

道路に関すること

## 意見・質問・要望等

道の駅には、観光バスの利用が多いようだが、福島県の梁川から丸森町までの国道が通行止めだった。福島からの観光客を角田市に誘導するには福島から角田経由で槻木までのバイパスが必要だと思うがどうか。【中島区公民館】

## 当日の回答

確かに幹線道路は必要だと思います。現在、部分的に工事が進んでいるところですが、今後の整備箇所について、国土交通省直轄で整備するよう要望しているようです。

## 当局回答

ご指摘の箇所は国道349号の丸森町大張川張～耕野地区と思われる、宮城県の管理となっています。市としましても、その箇所の改良は重要であるとの認識から、「宮城県市長会」や「国道349号建設促進期成同盟会」を通じて要望しているところであり、現在、国の直轄権限代行事業として取り組めるよう宮城県の第1優先順位に位置づけされているところです。【土木課】

No. 154

道路に関すること

## 意見・質問・要望等

街なかから半田川周辺への道路へ凍結注意の看板を立ててほしい。いちいち要望しないと立ててくれないのか。毎年のことなので、その時期になったら自動的に立ててほしい。【藤尾自治センター】

## 当日の回答

当局に伝えます。

## 当局回答

市道3047号、3048号線と思われますので、今後対応いたします。【土木課】

No. 155

道路に関すること

## 意見・質問・要望等

内町から明通峠に行く林道があるが、先日大型トラックが無理に入ってきて脱輪した。間違っても入らないようY字路に看板を立ててほしい。【藤尾自治センター】

## 当日の回答

要望として、当局に伝えます。

## 当局回答

ご質問の箇所は、市道立町内町線と思われます。この箇所については、今後、看板を設置します。【土木課】

No. 156

道路に関すること

## 意見・質問・要望等

下山から金津の十字路ですが、案内看板が無く金津への入り口が分かりづらい県道ですが、できれば交差点に街路灯を設置して、目立つようにしてほしい。【藤尾自治センター】

## 当日の回答

要望として、当局に伝えます。

## 当局回答

街路灯の設置については、今後検討していきます。【土木課】

No. 157

道路に関すること

## 意見・質問・要望等

西小坂のアイリスオーヤマ付近の道路は大型車が多く通るので痛んでいる。直すべきではないか。【東根自治センター】

## 当日の回答

当局に伝えます。

## 当局回答

ご指摘のとおり、痛んでいる箇所も見受けられますが、現在のところ舗装打ち替えの計画はありません。道路パトロールを実施しておりますので、路面損傷のひどい箇所については随時修繕で対応いたします。【土木課】

No. 158

道路に関すること

**意見・質問・要望等**

第9回議会報告会で要望した『日当たりの悪い市道の改造について』に対する当局の回答は、『莫大な費用が掛かり実施不可能』(報告書のP43・NO・147)とのことだが、子ども達のスクールバスや高齢者のデイサービスのバスなど通行できず、市民の日常生活に不便をきたしている。一気に改善とは言わないが、計画的に改善へ取り組んでほしい。【小田自治センター】

**当日の回答**

当局に伝えます。

**当局回答**

要望の趣旨は理解できますが、前回の回答のとおり、現段階では実施することは不可能であると言わざるを得ません。なお、今後において国の補助など利用できるような制度があれば検討したいと思いますが、難しいところです。【土木課】

**【前回の質問内容】**

除雪に関してだが、日当たりの悪い場所は毎回毎回除雪を繰り返すより、いつそのこと道路改造すなわち山林の整備をして、日照を確保したりカーブをなくすなどできないものか。(小田自治センター)

No. 159

道路に関すること

**意見・質問・要望等**

市道のカーブの勾配が外周が低くなっているところもある。その部分を改造することで簡単に解決する部分もあるので、現地を見て対応していただきたい。【小田自治センター】

**当日の回答**

当局に伝えます。

**当局回答**

ご指摘の箇所は、小田字藤倉地内のカーブと思われます。現地を確認した結果、ガードレールや注意看板等で対応していきます。【土木課】

No. 160

道路に関すること

**意見・質問・要望等**

農政課・土木課等に要望した際に、いつまで行くとの回答をいただくが、回答通りに工事が実行されないことが多い。民間感覚では、あり得ないことなので、回答通りに実施してほしい。【小田自治センター】

**当日の回答**

担当課に伝えます。

**当局回答**

緊急な業務が発生したり、また業者との調整に時間がかかる場合があります。できるだけ回答通りに実施できるように努力していきます。【農政課】

具体の箇所がわかりませんが、ご迷惑をおかけして申しわけありませんでした。以後、そのようなことがないように気をつけたいと思いますので、今後ともよろしく願います。【土木課】

No. 161

道路に関すること

**意見・質問・要望等**

西小坂あたりの堤防の草の管理について、草刈作業の時期が違う。一緒にできないものか。国の方は、きれいに刈られ、県の方(道路側)は、そうでない。何とかできないものか。【桜自治センター】

**当日の回答**

要望として、担当課にお伝えします。

**当局回答**

大河原土木事務所へ要望しているところですが、今後とも引き続き要望します。【土木課】

No.162

道路に関すること

**意見・質問・要望等**

JAXA近辺の道路に歩道が設置されてなく危険だ。何かあってからでは遅い。陳情したのに対し、それでも歩道を設置しないのは、歩行者が少ないという理由からであったが、仙台大学のトレーニング中の人や、柴田町・大河原町・角田市の小学生も頻繁に往来しているし、あぐりつと付近の歩道設置や利用状況を見ると、交通量が多いのにも関わらず、なぜ、対処しないのか。大河原小学校の子ども達が大量して遠足で訪れたという事実もあり、歩道のない道路を歩かせるのは危険なので、再度、歩道設置を要望する。【北郷自治センター】

**当日の回答**

もっともなご意見です。インフラの整備は一度にやるという訳にはいきませんので、要望し続ければ必ず実現するものと思います。我々もそのように努力していきますので、ご理解をいただきたいと思います。

**当局回答**

議員回答のとおり。なお、交通量調査を行っており、今後、検討していきます。【土木課】

No.163

道路に関すること

**意見・質問・要望等**

ヨークベニマルの北東側に新規パチンコ店が建設中であるが、隣接する道路に歩道がない。桜方面からくる自転車、歩行者が怖い思いをしている。今後、遊戯客の通行が増加することを考えれば、事故が発生する前に歩道を設置してはどうか。【東田町公民館】

**当日の回答**

要望として承ります。今後、当局と協議しながら検討していきます。

**当局回答**

今後、検討してまいります。【土木課】

No.164

道路に関すること

**意見・質問・要望等**

協働のまちづくりについては、毎年、市役所の中で検証しているのか。その中で、高畑南から新中島北に通じる堤防下の道路の舗装化を毎年要望しているが、「グレーダーでの整地をします。」との回答に留まっている。できるか、できないかをはっきりと、区長に回答すべきだ。【中島下区民会館】

**当日の回答**

毎年検証しているかについては、確認したいと思います。なお、要望に対する回答については、要望として受け止め当局に伝えます。

**当局回答**

各地区振興協議会の要望事業に対する検証につきましては、毎年、庁内で進捗管理を行っております。ご要望の場所は、現在要望事業にはなっておりません。  
なお、堤防下の道路については、国土交通省の管理となっており、これまで舗装について管理者と協議を行ってきました。その結果、舗装することは可能とのことでしたので、今後は舗装する方向で進めていきたいと思っております。【土木課】

No.165

道路に関すること

**意見・質問・要望等**

コンビニエンスストアから中島上2号交差点(中島保育所付近で交通の往来が頻繁にある)付近が一部狭くなっている。以前、用地交渉の問題でとん挫したようだが、逆に言うと、協力した方々も多くいたはずで、その方々が気の毒になる。現時点で交渉すれば、いい方向に進む可能性もあると聞いている。署名が必要ならそれも一つの手段だと思うが、どうすればいいのか行政の方から指導していただきたい。そして早期拡幅を要望する。【中島下区民会館】

**当日の回答**

要望として受け止め、担当課に伝えます。

**当局回答**

この道路については、以前に道路改良工事の計画があり、その際、用地補償の了解を得られず、現在に至っている経緯があります。現地箇所は建物もあり用地買収及び建物補償も必要となることから、早期の拡幅は難しい状況です。

No.166

道路に関すること

**意見・質問・要望等**

県道や国道のガードレールに、最近、茶色のものが増えてきた。従来の白色であれば視認性が良かったが、特に高齢者にとって茶色のガードレールは土の色と同化して見ずらくヒヤッとすることがある。【街なか交流サロン「ひだまり」】

**当日の回答**

降雪時に見やすいように茶色にしたとの情報もありますが、何故そうなったのか確認いたします。

**当局回答**

茶色のガードレールの設置については、道路景観の向上を目的に国土交通省が取り組んでおり、主に国県道に設置されております。いただいたご意見については、管理者である土木事務所にお伝えいたしました。【土木課】

No.167

除融雪に関すること

**意見・質問・要望等**

①前にも議会報告会で要望したが、除雪の地域ボランティアに対する助成や委託制度の確立はどうなったのか。【藤尾自治センター】

②除融雪の地域ボランティアに対する対応はどうなったのか。【東根自治センター】

③除融雪の地域ボランティアの方には、区として御礼をしているので、その補助を検討してもらいたい。【東根自治センター】

**当日の回答**

①除雪ボランティアの皆さんへの助成や委託制度確立については、保険の適用などの課題があり、進んでいないのが現状です。  
なお、現状を把握しながら何か良い方法が無いか検討します。

②平成27年度は、産業建設常任委員会で4回検討しました。当局は聞き取り調査を行い、「制度化されると義務的作業に感じるので止めて欲しい」との声が多く、今後も調査していくことになっています。

③緩やかな形で考えるよう、当局に伝えます。もう少しお時間をください。

**当局回答**

平成27年6月18日開催の産業建設常任委員会協議会で説明しているところですが、現在のところ制度化する予定はありません。平成27年6月8日～11日に各自治センターへ聞き取り調査を行った結果は、燃料代や謝礼を希望している方がいるという話はほとんど聞いたことがありません。そういうものは一切いらぬという意見がほとんどでした。

具体的な理由としては、「謝礼等を得れば義務的になるし、都合の悪い日もある」、「除雪の精度や範囲も指定され、これまでのようなボランティア感覚でできなくなる」というような意見が大半であり、現段階で制度化することは、マイナス面の要素の方が大きいと判断しているところではあります。【土木課】



No.168

除融雪に関すること

**意見・質問・要望等**

①西仲町で除雪機の台数が不足して不便だ。リースで十数台増設するので申請してほしいと土木課から昨年話しがあったが、その後担当課から何もコンタクトがないが、その後どうなったのか。【街なか交流サロン「ひだまり」】

②除雪機の運用基準を明確にしてほしい。小・中学生の通学路の安全確保の観点から、学校の用務員だけでなく、市民も使えるようにはできないのか。【街なか交流サロン「ひだまり」】

**当日の回答**

①毎年、同様のお声を承りながら申し訳ありません。除雪機の増設要望として承り当局へ伝達致します。

②運用基準については把握できておりません。担当課に確認を致します。

**当局回答**

市では「角田市歩道等除雪活動支援小型除雪機械の試験的導入に係る貸付要領」を設置し、地域住民等で組織する団体等(個人はNG)が、自主的に歩道等(通学路等)の除雪を行う場合に小型除雪機械を貸付しており、今年度は校長会で調整のうえ市内小・中学校へ4台の貸し出しを行っています。地域の方(団体)に貸し出しすることも可能ですが、貸し出しできる台数には費用対効果の関係から限度がありますので、西仲町における除雪機貸与の件につきましては、角田小学校や角田中学校との除雪エリアや降雪量等を踏まえながら、もう数年様子を見ていくこととしました。

また、平成28年3月10日にその旨を質問者へ説明しております。  
【土木課】

No.169

除融雪に関すること

**意見・質問・要望等**

先の議会報告会や土木課に対し、横倉小学校付近を除雪する歩道用小型除雪機の貸与を要望していたが、どうなっているのか確認したい。【横倉自治センター】

**当日の回答**

確かに前回の議会報告会で質問・要望があった件でありますし、当然に報告書等を踏まえた形で確認し、必要とされる可否を決定しているものと考えていますが、現実的に学校や振興協議会が必要と考えているならば持ち帰らせていただき、後日の予算審査や常任委員会等で確認をします。

**当局回答**

市内小・中学校の校長会で調整した結果、費用対効果の関係で、台数に限りがあることから、他校へ譲ることになった経緯があり、今後も校長会の中で、限られた台数の中から調整していくこととしています。

また、平成28年1月28日に質問された方へ説明しました。【土木課】

No.170

除融雪に関すること

**意見・質問・要望等**

除融雪について、融雪剤をストックし、地域の方に子ども達が通学する前に散布してください、と市の方からお願いがないものか。【野田生活センター】

**当日の回答**

持ち帰り検討します。

**当局回答**

融雪剤については、冬季間ストックしており市道への散布を地域の方にお願ひしています。通学路についても同様に協力いただける方をお知らせいただければ、融雪剤を配布します。【土木課】

No.171

除融雪に関すること

**意見・質問・要望等**

角田山元トンネルへの県道が、凍結のため大渋滞だった。登り坂が登れなかったので、融雪剤の散布をしてほしい。凍結・圧雪時に速やかに対応できるよう県から地元の住民に委託してはどうか。【藤尾自治センター】

**当日の回答**

県では、除融雪を含めた道路管理について、地元業者に委託していると思いますが、対応には時間がかかっているようです。ピンポイントで地元の方に委託できるかは、当局を通じて話をしてみます。

**当局回答**

宮城県大河原土木事務所へ確認いたしましたが、安全面での問題もあり地元住民への委託は行っていないとのことでした。【土木課】

No.172

除融雪に関すること

**意見・質問・要望等**

明通峠への市道の除雪が遅いので、早くしてほしい。市道になってから特に遅くなった。【藤尾自治センター】

**当日の回答**

要望として、当局に伝えます。

**当局回答**

業者委託で除雪を行っており、担当エリアを短時間で除雪できるよう努力しているところですので、ご理解いただければと思います。【土木課】

No.173

除融雪に関すること

**意見・質問・要望等**

県道への融雪剤がないので、支給してほしい。【藤尾自治センター】

**当日の回答**

当局に伝えます。

**当局回答**

宮城県大河原土木事務所へ確認いたしましたが、県道への融雪剤支給は行っていないとのことでした。【土木課】

No.174

河川に関すること

**意見・質問・要望等**

枝野は水害に弱い。防災のために阿武隈川にそそぐ支流の浚渫を要望しているが、急いでほしい。【枝野自治センター】

**当日の回答**

当局に伝えます。

**当局回答**

ご要望の箇所は県管理河川の桜井川及び新桜井川と思われます。浚渫については引き続き要望していきます。【土木課】

No.175

河川に関すること

**意見・質問・要望等**

平成27年9月に小田川が増水し、通行止めになっている。小田川の除草は、小田地区の方が行っているが、大島橋の下流は、整備がなっていない。草がボウボウで水が流れているかどうか分からない状況だ。除草をすれば流れるようになると思うが、除草はしないのか。【中島区公民館】

**当日の回答**

大島橋の下流は、国土交通省の管理ですので、平成27年12月24日に大河原土木事務所河川砂防第二班の職員3人と市役所土木課長、係長、小田の4人の区長とで現場を調査し、県の職員が詳しく測量して結果を市土木課長へ報告することになっています。

**当局回答**

議員回答の内容は、小田橋から沼南橋付近までの土砂浚渫のことと思われます。

今回質問されている、大島橋下流の除草の件については、国土交通省の管理となりますので、引き続き要望していきます。【土木課】

No.176

角田市民ゴルフ場に関すること

**意見・質問・要望等**

市民ゴルフ場を利用している方は、市外の人の方が多い。なぜ毎年来ているのか聞くと、歩くことが健康に良いからだそうだ。スムーズに歩けるように電動キャリーを導入してほしい。【中島区公民館】

**当日の回答**

導入について、即答できませんが、要望があったことを当局に伝えます。

**当局回答**

ゴルフ場では、プレイヤーの負荷軽減を目的に自動追尾式のロボットカートを平成28年4月より本格導入予定ですので、ご活用いただきたいと思っております。【土木課】

No.177

側溝に関すること

**意見・質問・要望等**

現在、横倉地区には、今谷・山崎・左関住宅など点在している。それらの側溝の整備(蓋掛け)を以前から要望しているが、市長に伺うと、横倉地区の側溝整備は年次計画で整備していくとの答弁であり、土木課に伺えば年間200万円で持ち回りで整備していくとのことだ。住民の高齢化も進み危険度も増している現状にあるので、急いで整備を図るように努めてほしい。【横倉自治センター】

**当日の回答**

この件に関しましては、各地区振興協議会から出された各種整備事業を精査し、毎年200万～500万円位の予算で整備を図っているものであります。ご質問の左関住宅の側溝整備については、平成28年度を予定しておりますが、他の住宅の側溝整備についてはどうなっているのかも含め、危険箇所などの優先順序の高い箇所もなど調査し、当局と精査を図りますので持ち帰りさせていただきます。

**当局回答**

今谷、山崎、左関住宅の側溝整備については、地区振興協議会の要望事業とは別に実施している事業です。側溝整備の優先順位については、地元の行政区長と相談しながら決めていますので、ご理解ください。【土木課】

No.178

側溝に関すること

**意見・質問・要望等**

裏町地区の側溝整備工事について、車庫の出入り口が未整備で、出入りに苦慮している。出入口を優先して整備すべきではないのか。西側の側溝も未整備なので、整備を急いでほしい。【中島区公民館】

**当日の回答**

裏町地区の側溝整備工事については、年次計画により順次進めています。ご指摘の箇所も年次計画に入っており、いずれは整備いたします。優先順位については、地元の行政区長と相談しながら決めていますので、ご理解ください。

**当局回答**

議員回答のとおりです。【土木課】

No.179

側溝に関すること

**意見・質問・要望等**

震災後の復旧工事の中で、側溝そのものと側溝の蓋が曲がっており、車が蓋を踏むたび起こす音が近隣のストレスとなっている。またマンホールの蓋のガタつきがある箇所もあり、改善してほしい。【街なか交流サロン「ひだまり」】

**当日の回答**

当局に早急に対処するよう伝えます。

**当局回答**

ご質問の箇所は、市道仲町線と思われます。側溝の補修箇所については、行政区長と立会いを行いました。今後、補修いたします。【土木課】

No. 180

下水道に関すること

**意見・質問・要望等**

小田川の件について詳しく説明してほしい。野田地区の水は阿武隈川に直接排水するのではなく、小田川へ排水するという事なのか。【野田生活センター】

**当日の回答**

排水施設は小田川に排出するなど問題があり、しっかりした水路を作ることなどを含め、議会としても皆さんの意見を聞きながら検討していきます。

**当局回答**

野田地区は小田川整備計画において小田川の間接流入域として位置づけられていることから、雨水排水先については、宮城県管理である小田川に排水する計画で既設樋管を利用するものです。河川計画水位が野田排水区内の地盤の高さよりも高いため、小田川の水位が高い場合は自然流下排水ができなくなるため、ポンプ排水により強制排水するものです。現在、野田排水区雨水ポンプ場建設に着手しており、継続して雨水幹線管渠の整備及び雨水調整池建設を行う予定です。【下水道課】

No. 181

下水道に関すること

**意見・質問・要望等**

下水道の整備において、袋小路の私道の場合、住民全戸の同意がないとできない。市でも積極的に同意を求めると動いてほしい。【野田生活センター】

**当日の回答**

全戸が同意し、全戸が下水に接続することが前提になります。私道分の工事は市の負担ですが、各戸への接続工事は個人負担になります。市として、今度、どのような年次計画で進めていくのか明確にするように求めていきます。

**当局回答**

私道路内の下水道施設整備については、私道路内下水道施設設置申請が必要で、私有地に公共施設を設置する上から関係者全員の承諾が必要となります。私道路の接する公道での下水道工事実施時期に私道路内下水道施設整備についても説明を行い、関係者からの相談等については随時対応していますが、今後も同様に対応していきます。【下水道課】